

2023年度 愛知学泉短期大学シラバス

シラバス番号	科目名	担当者名	実務経験のある教員による授業科目	基礎・専門別	単位数	選択・必修別	開講年次・時期
37405	診療報酬請求事務(レセプト業務) Clerical work of Request for Medical treatment fees (Rezept business)	木下秀兆		専門	2	選択	1・2後期

科目の概要

医療技術の高度化、ITやAI技術が進む中でも最終的な確認作業は人間の目で行うことが必要とされています。その中で医療事務に対する専門性と必要性は医療機関で高く評価されています。医療保険制度の仕組みを理解し、診療報酬請求事務に関する知識を習得して正確なレセプトを作成し、知識・情報等に基づき問題解決しながら請求できる能力を身につける。将来、医療事務として働くための基礎知識を身につける。

学修内容	到達目標
① 医療保険制度の概要(社保、国保、後期高齢者医療、公費、労災、介護)を学習する。 ② 医療事務の基礎知識(接遇、受付、会計、請求)を学習する。 ③ 診療行為ごとの診療報酬算定ルールを学習する。 ④ 診療報酬算定及び診療報酬明細書(レセプト)の作成ルールを学習する。	① 医療保険制度の仕組みと制度の内容を理解し、説明することができる。 ② 医療事務に関する保険給付の種類、患者負担のルール、被保険者証の見方等について説明することができる。 ③ 診療行為ごとの診療報酬算定を行うことができる。 ④ 診療報酬明細書(レセプト)を正しく作成することができる。

学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素

学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的行動事例

前に踏み出す力	主体性	受け身の姿勢ではなく、自発的に学習に取り組むことができる。 他者に流されることなく、自分自身の成果を追求し、積極的に取り組むことができる。
	働きかけ力	理解できない部分について、理解するために、どこがどのように理解できないかを判断し、積極的に質問することができる。 理解できない箇所について具体的に整理をし、質問することができる。
	実行力	自分の力(知識)で点数算定できる。 自分の力で物事を探求し、解決に導くことができる。 他者の意見を取り入れながら解決に導く道筋を見つけることができる。
考え抜く力	課題発見力	苦手な分野を自覚し、問題点を解決するために行動を起こすことができる。 相手の意見と自分自身の考えをすり合わせ、自分に足りないものを自覚することができる。
	計画力	目標を達成する(復習と予習)ための計画を作成することができる。 計画通りに行かない場合は、計画の見直しを図ることができる。 計画と実績に対し、評価と見直しを常に考え実行することができる。
	創造力	自分に取り組んでいることに好奇心をもち、いろいろな観点から物事をとらえることができる。
チームで働く力	発信力	相手に理解してもらえよう、どう話したら相手に伝わるかを考え、話し方を工夫することができる。
	傾聴力	相手の話している意味を考え、何を理解してほしいのか相手の気持ちになって考えることができる。 自分の理解・解釈が正しいことが確実に確認できない場合は、そのままにせず確認することができる。 相手の話を素直に聞くことができる。
	柔軟性	考え方、評価をする物差しは人それぞれであることを受け入れることができる。 相手の立場になり物事を考え、相手を理解できるよう努力することができる。
	状況把握力	自分だけでなく、皆が目標を達成するためどうすればいいのかを常に考え、教え、教え合うなど皆と協力し合うことで目標に向かって結果を出せるよう取り組むことができる。
	規律性	遅刻、無断欠席をせず、授業が円滑に進行するようにルールを守ることができる。
	ストレスコントロール力	間違えた場合、理解できなかった場合でも落ち込まず、復習を繰り返すことで自信を持ち1つ1つ前に進むことができる。

テキスト及び参考文献

テキスト：(株)ソラスト発刊のテキストを使用(税込価格)
 ・テキスト1 医療保障制度 (1,650円) ・テキスト2 診療報酬の算定(上) (2,200円)
 ・テキスト3 診療報酬の算定(下) (2,200円) ・資料ブック (2,530円)
 ・薬価表 (330円)

他科目との関連、資格との関連

他科目との関連：メディカル秘書概論、メディカル秘書実務
 資格との関連：上級医療秘書士(メディカル)

学修上の助言	受講生とのルール
基本的な項目から順序立てて積み重ねることになるため学習内容を整理しておくこと。 復習を重要な位置づけとして考え、繰り返し復習すること。	毎回の授業の積み重ねになるため遅刻、欠席をしないこと。 わからないところは、解消できるよう何度でも質問をすること。 欠席した場合は自主学習をし、理解不能なところは質問し理解できるよう努力すること。 携帯電話の電源は切り、カバンの中にしめておくこと。

【評価方法】

評価対象	評価方法	評価の割合	到達目標	各評価方法、評価にあたって重視する観点、評価についてのコメント		
学修成果	学期末試験 筆記（レポート含む）・実技・口頭試験	60	①	✓	<ul style="list-style-type: none"> 医療保険制度の概要を理解している。 各項目の算定ルールをよく理解し、根拠に基づいて解答できている。 上記二点の理解度を図る問題を作成し評価する。	
			②	✓		
			③	✓		
			④	✓		
	平常評価	小テスト	30	①	✓	小テスト及び作成した診療報酬明細書（レセプト）の提出。 出題範囲は各時点までの授業で学習した内容とする。
				②	✓	
				③	✓	
				④	✓	
		レポート	0	①		
				②		
				③		
				④		
成果発表（プレゼンテーション・作品制作等）	0	①				
		②				
		③				
		④				
学修行動	社会人基礎力（学修態度）	10	①	✓	<ul style="list-style-type: none"> 受け身の姿勢ではなく、自発的に取り組むことができる。（主体性） 自分の力（知識）で点数算定できる。（実行力） 自分の苦手分野を見つけ自覚することができる（課題発見力） 目標を達成する（復習と予習）ための計画を作成し、常に評価と見直しを行うことができる。（計画力） 自分が取り組んでいることに好奇心をもち、いろいろな観点から物事をとらえることができる。（創造力） 人との違いを受け入れ、相手の立場で物事を考え理解できるよう努力することができる（柔軟性） 遅刻、無断欠席など、学修意欲の欠如をきたす行動をせず、授業が円滑に進行するようにルールを守ることができる。欠席した場合は欠席届を提出し、フォローレポート課題を行う。（規律性） 	
			②	✓		
			③	✓		
			④	✓		
総合評価割合		100				

【到達目標の基準】

到達レベルS(秀)及びA(優)の基準	到達レベルB(良)及びC(可)の基準
○小テスト・筆記試験の結果において概ね90点以上の点数となっていて、授業態度も良好であればS（秀）。 ○小テスト・筆記試験の結果において概ね80点以上の点数となっていて、授業態度も良好であればA（優）。 （診療報酬請求について全体的にきちんと理解がされて、詳細までレセプト作成ができるレベル）	○小テスト・筆記試験の結果において概ね70点以上の点数となっていて、授業態度も良好であればB（良）。 ○小テスト・筆記試験の結果において概ね60点以上の点数となっていればC（可）。 （診療報酬請求事務の概略的事項が理解されていて、基本的なレセプト作成ができる）

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
1	請求事務の概要 ・請求事務全体のしくみを学習する。	講義	請求事務全体のしくみが理解できた。請求事務全体のしくみが理解できた。	(復習) テキストで請求事務について再確認すること。 (予習) テキストの医療保険のしくみの図を見ておくこと。	180	主体性 計画力 創造力 発信力 規律性
2	医療保障制度 ・制度全体を学習する。	講義 授業の開始時に前回授業内容を口頭で確認、全体にフィードバックする。	医療保障制度の概要が理解できた。	(復習) 医療保険の種類を覚えること。 (予習) テキスト4部1章を読んでくること。	180	主体性 計画力 創造力 傾聴力 規律性
3	初診・再診 ・診察料の算定に関する原則を学習する。	講義 授業の開始時に前回授業内容を口頭で確認、全体にフィードバックする。	初診料・再診料の考え方が理解できた。	(復習) テキストの練習問題を解くこと (予習) テキスト4部2・3章を読んでくること。	180	主体性 働きかけ力 実行力 創造力 傾聴力 規律性
4	医学管理・在宅 ・各管理料の原則について学習する。	講義 授業の開始時に前回授業内容を口頭で確認、全体にフィードバックする。	医学管理・在宅の考え方が理解できた。	(復習) テキストの練習問題を解くこと (予習) テキスト4部4章を読んでくること。	180	主体性 働きかけ力 実行力 創造力 傾聴力 規律性
5	投薬 ・投薬料の算定に関する原則を学習する。	講義 授業の開始時に前回授業内容を口頭で確認、全体にフィードバックする。	投薬の基本的考え方が理解できた。	(復習) 五捨五超入の計算をマスターすること。 (予習) 投薬のレセプトの書き方を見てくること。	180	主体性 働きかけ力 実行力 創造力 傾聴力 規律性
6	投薬 ・内服薬・頓服薬・外用薬の違いを理解し、レセプトの書き方を学習する。	レセプト作成 授業の開始時に前回授業内容を口頭で確認、全体にフィードバックする。	レセプト記載の基本的事項が理解されている。	(復習) テキストの練習問題を実施すること。 (予習) 実際にレセプトを作成すること。	180	主体性 実行力 課題発見力 発信力 ストレスコントロール力
7	復習 ・前回まで内容の理解を深める。	小テスト 復習内容の質問に記述で答えた後、フィードバックする。	診察料～投薬までの基本的事項が理解できた。	(復習) 出来なかった項目を再確認すること。 (予習) テキスト4部5章を読んでくること。	180	主体性 働きかけ力 実行力 創造力 柔軟性 状況把握力 規律性
8	注射 注射の算定に関する原則を学習する。	講義 授業の開始時に前回授業内容を口頭で確認、全体にフィードバックする。	注射料の算定ルールが理解できた。	(復習) テキストの練習問題を解くこと。 (予習) 注射のレセプトの書き方を見てくること。	180	主体性 働きかけ力 実行力 創造力 傾聴力 規律性

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
9	注射 ・注射の種類ごとの算定ルールを理解し、レセプトの書き方を学習する。	レセプト作成 授業の開始時に前回授業内容を口頭で確認、全体にフィードバックする。	レセプト記載の基本的事項が理解されている。	(復習) 実際にレセプトを作成すること。 (予習) テキスト4部6章を読んでくこと。	180	主体性 実行力 課題発見力 発信力 ストレスコントロール力
10	処置・リハビリテーション ・処置およびリハビリテーション料算定の原則を学習する。	講義 授業の開始時に前回授業内容を口頭で確認、全体にフィードバックする。	処置・リハビリテーションの基本が理解できた。	(復習) テキストの練習問題を解くこと。 (予習) テキスト4部8章を読んでくこと。	180	主体性 働きかけ力 実行力 創造力 傾聴力 規律性
11	検査 ・検査の算定に関する原則を学習する。	講義 授業の開始時に前回授業内容を口頭で確認、全体にフィードバックする。	検査の算定ルールが理解できた。	(復習) テキストの練習問題を解くこと。 (予習) 実際にレセプトを作成すること。	180	主体性 働きかけ力 実行力 創造力 傾聴力 規律性
12	これまでの復習 検査までの内容の理解を深める。	小テスト 復習内容の質問に記述で答えた後、フィードバックする。	診察料～検査までの基本的事項が理解できた。	(復習) できなかった事項を再確認すること。 (予習) テキスト4部12章を読んでくこと。	180	主体性 働きかけ力 実行力 創造力 柔軟性 状況把握力 規律性
13	画像診断 画像診断の基本的考え方を理解する。	講義 授業の開始時に前回授業内容を口頭で確認、全体にフィードバックする。	画像診断の算定ルールが理解できた。	(復習) テキストの練習問題を解くこと。 (予習) 画像診断のレセプトの書き方を見てくこと。	180	主体性 働きかけ力 実行力 創造力 傾聴力 規律性
14	これまでの復習 画像診断までの内容の理解を深める。	レセプト作成 授業の開始時に前回授業内容を口頭で確認、全体にフィードバックする。	レセプト記載の基本的事項が理解されている	(復習) テキストの練習問題を解くこと。 (予習) 実際にレセプトを作成すること。	180	主体性 実行力 課題発見力 発信力 ストレスコントロール力
15	総復習 診療報酬全体の総復習をして理解を深める。	レセプト作成 授業の開始時に前回授業内容を口頭で確認、全体にフィードバックする。	レセプト記載について全体的に理解されている	(復習) 実際にレセプトを作成すること。	180	実行力 課題発見力 発信力 柔軟性 状況把握力 ストレスコントロール力

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力